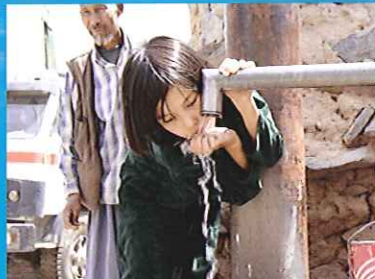




いのちの水 プロジェクト

ひと、水、笑顔 はじめよう。

世界では5人に1人が安全な水を飲むことができません。



生活に欠かせない「いのちの水」。

国連ハビタットは、世界中の人たちが安心して水を飲み、安全に暮らせる「まちづくり」を応援しています。

国連人間居住計画(ハビタット)福岡本部(アジア太平洋担当) <http://www.fukuoka.unhabitat.org>



アジア太平洋地域における 「いのちの水」プロジェクト募金

現在、世界の5人に1人(約12億人)が安全な水を飲めず、また、開発途上国に住む約26億人がトイレなどの衛生施設を利用できない危機的な状況です。
国連ハビタットは、アフガニスタン等において「いのちの水」プロジェクトを実施している他、アジア開発銀行とともに「アジアの水事業」を実施したり、スラム改善事業のための「水と衛生」に関する事業を展開しています。
人々が安心して水を飲み、安全に暮らせる「まち」を目指した活動に、皆さんも参加しませんか?

<p>プラットフォーム付き 井戸ポンプ1台の設置</p> <p>530ドル 日本円で約57,000円</p> <p>設置費は、現地の資材価格等の変動により変わる場合があります。</p>	<p>アフガニスタンの場合</p> <p>エコトイレ 1台の設置</p> <p>170ドル 日本円で約18,000円</p> <p>設置費は、現地の資材価格等の変動により変わる場合があります。</p>
---	---

<p>現状①</p> <p>世界の5人に1人(約12億人)が安全な水を飲めない。</p>	<p>現状②</p> <p>世界の5人に2人(約26億人)が下水などの衛生施設を持たない。</p>	<p>現状③</p> <p>毎日約6,000人の子供たち(特に5歳以下)が、下痢など水関連の病気で死亡している。</p>	<p>現状④</p> <p>世界人口の半分が都市に集中。そのうちの約3人に1人が安全な水や適切な衛生を確保できない。</p>
--	---	--	---

アジア太平洋地域における活動例


AFGHANISTAN
アフガニスタン
ジャララバード市

コミュニティのニーズに合わせて長期にわたる紛争を経験したアフガニスタンでは、帰還民や国内避難民の流入によりジャララバードのような地方都市が深刻な水や衛生の問題を抱えています。国連ハビタットは、国家連帯プログラム等、様々な事業を通してコミュニティのニーズを把握し、ハンドポンプの設置や井戸、上下水道の整備を行っています。また、洪水や干ばつなど広い国土で経験する様々な自然災害に対処するための小規模ダムや灌漑設備の整備も行います。施設完成後はコミュニティが維持管理を行います。



NEPAL
ネパール
カトマンズ・バレー

雨水を利用しよう
ネパールは、その地理的条件から水資源が豊富にあるにも関わらず、生活用水を地下水に頼っています。しかし、近年、地下水の過剰な汲み取りや生活・産業排水による地下水汚染という問題が深刻化しています。国連ハビタットは、都市部の水と衛生に関するNGOフォーラムと共に、「雨水利用推進キャンペーン」を展開しています。自治体施設への雨水貯水システムの設置や、配管工への技術訓練、世帯レベルでの意識向上キャンペーンへのメディアの参画等、ユニーク且つ効果的な数々の試みを行っています。



MONGOL
モンゴル
ウランバートル市

人々に安心・安全な水を
ウランバートル市における唯一の水資源は地下水ですが、上下水の給排水や周辺設備の未整備に加え、都市部ゲル地区への急速な人口流入により水供給が非常に困難です。また、水質が悪化し下痢等の病気も急増しています。国連ハビタットは、ウォーター・キオスク(まちの飲料水供給所)の設置や周辺道路の整備を行い、人々が安全・安心に水を確保できる環境を整えます。更に、公共浴場やトイレ等を備えた公共サービス施設も整備します。



INDIA
インド
マディヤ・プラデシュ州

需要に見合う水供給を目指して
急激な都市化に伴い、都市部では水の需要と供給のギャップが著しく、特に貧困層への水の供給がひっ迫しています。国連ハビタットは、自治体や関係機関と連携し、住民が参画する水供給システムを実施しています。各コミュニティに給水パイプ等の設備の所有・運営を任せ、初期工事費用免除や機材設置手順の簡素化を図り、安価で安全な水を供給します。運転資金は自治体関連機関が管理します。自治体とコミュニティが協働し、水の供給に上の効果をあげています。

